

令和元年度「経営発達支援事業」に関する実施報告書

1. 高山西商工会の現況について

・本年度が「経営発達支援計画」の最終年度(5年目)となり、これまでの経験を踏まえて下記内容で支援実施しました。

2. 「経営発達支援事業」の具体的事業について

経営発達支援メニュー	事業の具体的内容	目標数	実施数
地域の経済動向調査 (指針)	・高山市景気動向調査	4回	4回
	・県内中小企業景況調査	4回	4回
	・飛騨地域経済&需要動向の推移	2回	2回
	・その他の情報提供	4回	2回

(評価及び改善等)

・「高山市景気動向調査」は内容が濃いだけに、今後も提供してまいりたい。
 ・高山市が発行している「観光動向調査」は活用しがいがあると好評です。
 ・高山市が発行している各種データを、当地域向けにチョイス、アレンジした「情報冊子」を作成して配布してまいりたい。

経営状況の分析 (指針)	・巡回指導件数	1,200回	761回
	・経営状況の把握及び分析	100件	112件
	・専門家派遣数	20件	27件

(評価及び改善等)

・昨年と比べ巡回回数は横ばいであったが、発達支援事業関係は増加しているので、デスクワークの必要に迫られることも考え合わせれば十分だと感じています。
 ただ、全ては巡回から始まるので、“効率的に万遍なく”を目標としたい。
 ・記帳機械化支援事業者が着実に増加しているため、基礎データを把握している事業者数は十分だが、もう少し踏み込んだ“財務諸表等の分析”を実施したい。

事業計画策定支援 (指針)	・事業計画作成セミナーの開催	2回 20人	2回 15人
	・個別相談会の開催	6回 10人	6回 11人
	・本格的事業計画策定数	10件	29件
	・創業計画策定数	3件	3件

(評価及び改善等)

・十分な成果を上げた。特に補助金申請に伴う計画の支援は内容・数ともに充実しています。
 ・「事業計画作成セミナー」は、もう6年連続で開催してきたため、参加者集めに苦労していますが、時期や研修内容等より緻密な取り組みが必要と感じています。

・セミナー開催とは別に、今後も随時個社支援の機会を増やしてまいります。

事業計画実施支援 (指針)	・本格的事業計画の実施支援	10件	29件
	・創業計画の実施支援	6件	3件
	・課題克服型事業計画の実施支援	2件	0件

(評価及び改善等)

・コンパクト事業計画(創業)については、計画書作成の他に6社の支援を実施して会員獲得の効果をえています。今後も創業者に寄り添った支援を実施してまいります。

・計画実施に関わるフォローアップ件数は十分であり、しっかり伴走できています。

創業者支援 (指針)	・起業セミナーの開催	1回	3回
	・創業支援者数	5人	8人
	・創業計画の作成数	3件	3件

(評価及び改善等)

・高山市商工課との連携効果により、早期段階からの支援が実施できています。

・創業者の事前情報取得が可能となり、対応する能力の向上も併せ効果を高めている。

需要動向調査 (指針)	・観光及び労働実態調査の提供	5回	2回
	・経営指標等の提供(個社提供)	30件	29件

(評価及び改善等)

・事業計画作成に際して、業種別審査辞典を有効活用しており、十分効果があったと感じます。

新たな需要開拓支援 (指針)	・松ノ木峠PA活用事業の開催	100日	50日
	・展示会等の出展支援	10件	1件
	・メディアあっせん	12件	19件
	・IT支援事業所数	8件	6件

(評価及び改善等)

・「松ノ木峠PA活用事業」は、年間50日開催、224万円超の売り上げがあり、効果を上げました。もう少し出店数が増えれば、売上も出店日数も増加して効果が上がると感じています。

・「展示会等出展支援」が0件とはいかにも少なく、当管内には展示会等に出展される事業者が少ないといった事情はあるものの、何らかの対策が必要と感じています。